

発行
平成23年
11月21日
復刊 第76号



発 行 者
長野県下伊那農業高校
同 窓 会
TEL(22)5550(代)
FAX(53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍共印刷(株)

百周年への第一歩の年

同窓会長 岩崎和男(高9回卒)



我らの命かなと改めて感じた処であり、今年三月卒業され同窓会員には価値ある思い出と今後の人生の良き教訓となられた事と思いません。

同窓会員の皆様方には、御健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。又母校並びに同窓会の為に御尽力賜わっております事、心より御礼申し上げます。

今年、去る三月十一日に未曾有の東日本大震災が発生しました。多くの尊い人命が失われると同時に多くの皆様方が被災され合せて福島原発事故により住みなれた地域を離れ避難をされた皆様等大災害となりました。お亡くなりなられた皆様、被災されました皆様方にお悔やみとお見舞いを心から申し上げますと同時に一日も早い復旧、復興と原発事故の収束を願う処です。

さて昨年は、母校下農の創立九十周年の記念事業、記念式典が同窓会員各位の御協力により無事終了する事が出来御礼申し上げます。創立当時と現在とでは、隔世の感がありますが、農は

又この九十周年に合せて新体育館も完成をし同窓会とPTAと合同にて綴帳を寄贈したところでございます。又、記念事業の最後として記念ゴルフコンペが六月に、二百三十拾余名の参加の下、盛大に開催されました、下農同窓会の層の厚さと団結力の強さを痛感した次第であります。女子の同窓会員で組織をしております稲穂会も活発な活動をしておりまして頼もしいかぎりでありませぬ。

いよいよ今年には次の百周年に向けての第一歩を踏み出した処であります。少子化が進み高校再編は避けては通れない課題ではあります、母校創立百周年は農業高校単独校で迎えたいと考える処です。同窓会員の皆様方の御協力を願うところであります。

さて二十三年度の代議員による総会も五月二十一日に開催されますすべての案件も承認されましてスタートを切って今日に至っております。皆様ご案内のとおり我が同窓会は、稲丘会館とマイクロバスを運営している財団法人稲丘会があります、この度法改正により新法人として一般財団法人か、公益財団法人かに移行せねばなりません。一般財団法人は税負担、所得税、固定資産税が課せられますので理事会では公益法人化に向けて検討中であります。どうすれば公益法人化に移行出来るか信濃サポーターセンターに委託をし調査、検討を願うと同時に理事の中より五名のプロジェクトチームを作り共同して検討中です。平成二十五年迄に結論を出さなくてはなりません。先輩の皆さんが残してくれた貴重な財産でありより発展運営しなくてはなりません。又、地域の厚い信頼に応える農業高校としてより発展する為に我々同窓会の果たす役割は大なるものがあります。多くの課題もありますが同窓会各位の御協力を心よりお願い申し上げます。そして各支部の活発な活動と、稲丘時報の会員への配布をお願いいたします。

最後同窓会各位の御健勝と母校下農の更なる御発展を祈念しましてご挨拶といたします。

同窓会と共に刻んだ伝統を未来へ繋げるために

学校長 遠山善治(高26回卒)



同窓会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は本校の教育に対しましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年の創立九十周年記念式典では、会員のみならずご協力により盛大に挙行できました。また、本年六月には記念事業の一環としておこなわれた同窓会親善ゴルフ大会では、多額のご寄付をいただきましたことにあらためて感謝申し上げます。同窓生の母校に寄せる熱い期待に触れるとともに、それに応えるべく、貴重な浄財を生徒の学習活動に有効に活用させていただきます。

さて、未曾有の被害を生んだ東日本大震災、原発事故にあたり、被災された多くのみなさまに心からお見舞い申し上げます。原発事故による環境汚染で、人類が生きていくために必要である安全な食料や、食料生産に欠かせない自然環境が

失われることが懸念される中、食や環境、生命や暮らしについて学んでいる本校の存在意義はきわめて大きくなっていると確信しています。このような本校の教育をとおして、農業の専門の知識や技術を高めていくことは、この地域のみならず、長野県や全国、そして今回の災害により被害を受けた地域の方々に對しても、名誉ある貢献ができるものと思っております。

長野県は生徒数の減少に伴い、「魅力ある高校づくり」と「高校の規模・配置の適正化」の二つの柱によって、高校の教育の質を高め、生徒たちにより良い環境を提供するという視点から、現在高校の再編が進められているところです。この地域においても、平成二十五年より飯田長姫高校と飯田工業高校が統合し新しい高校が誕生することとなっています。顧みれば、高校再編計画のスタートであった平成十七年当時の本校統合計画案に對して、同窓会が中心となり、農業教育の重要性を地域等に訴えた結果、今日の単独農業高校として存続することができました。私たち母校に勤めるものとして、この

同窓会の熱い思いを風化させることなく、いつも心に刻んでおかなければならぬと考えているところだ。生徒数は、今後とも減少の一途をたどり、平成二十九年頃から急激に減少が見込まれることから、再び高校の統合計画が浮上して行くことは必死の状況です。統合計画という大きな荒波にのまれることなく、単独農業高校として、今後も存続していくためには、一層魅力ある学校として充実発展していかなければなりません。

今年度は一層魅力ある学校とするため、地域との連携を広めた取り組みを展開しました。その一つに、生徒が地元の豚肉を食材として開発した弁当を商品化し、県内のサークルKでの販売したことです。弁当には、高校生のごだわりが詰まっています、マスコミ等で大きく取り上げられ好評でした。知事や教育長との昼食会では、生徒から「貴重な経験から、食に関係する仕事に携わりたい。」という発言がみられました。

また、今年度より新たに文部科学省のサイエンス・パートナーシップ・プログラム事業を実施しました。これは大学等との連携をとおしてより専門性の高い学習を行うというもので、信州大学農学部との連携を深めた学習を展開しています。

テーマは「飯伊地域の自然と資源利用」で、この地域の自然や農業について農学部からの先生から講義をもらっています。この事業によって、大学を身近に感じ、大学進学熱を誘発し、国立大学への進学のきっかけにしたいと考えています。

本誌に初代校長の芝原彦十先生が揮毫された「瑞気満堂(すいきまんだう)にみつる」の扁額が紹介されています。この書のふさわしい下伊那農業高校でいたい。これが私どもの願いです。そして、

様々な取り組みをとおして、より一層地域から評価を受けるに足る高校として発展するよう努力していきたいと考えます。今後とも、母校のため変わらぬご支援とご指導をいただきますようお願い申し上げます。

長野県議会議員退任にあたり
長年お世話になりました。

森 田 恒 雄(高3回卒)

十六歳で村議選告示二日前に青年団推薦で出馬の羽目となり、以来六期二十四年、昭和五十八年四月退任して農業に専念を！と表明していた時、寺澤正臣県議(山吹)が病気で御逝去、又県議選出馬の羽目に。一四五票差で現職を破つての当選。以来こんにちまで、吉村、田中、村井、阿部と続いた四知事のもとで二十八年。余力を持って退任が私の心でしたから八十歳近い後期高齢者として当然の道、今日まで御支援御交誼いただいた全ての皆様へ深く感謝し心より御礼申し上げます。

広い下伊那、四国の香川県や大阪府と同じ面積と言わ

れるが、香川県の県議は四十三人、大阪府議は一三五人、対して下伊那は二人。自宅から根羽まで五五km、そして大鹿へ一五km、そして長野の県庁へは一六〇km。岡谷市や諏訪市は、バイクで市の端から端まで走って十五分という。私は健康でなければ動まらないと、つくづく感じての行動でしたが、健康は二の次、家庭も二の次、広い下伊那を飛び廻りました。私の政治理念は現場主義、そして政治を志す者は一、花には水を、人には愛をの精神で！

一、身を正し、誠実一路の行動を！

一、初志貫徹、信念のぶれることなきを！

三ヶ条を旨とし取組んで来ました。

県都から遠い飯伊、現場を踏み、本会議で通算七十七回、八百五十項目の提言、質疑をいたしました。退任した今、各町村で主な皆様に退任報告会を開いてもらい、発行した県政レポート二十八年の記録集一五四ページ

初代校長 芝原彦十先生の揮毫による「瑞気満堂(すいきまんだう)にみつる」の扁額が、昨年の秋、本校創立九十周年を記念して、阿智村智里の熊谷紀夫氏より、茂木立好則氏(高六回卒業)を通じて、本校に寄贈されました。

熊谷紀夫氏の父、義信氏は昭和七年旧制十回の卒業生で、同窓会の監事や阿智支部長を長く務め、周年事業等でご尽力いただきました。義信氏は在学中より、芝原校長から薫陶を受け、先生を師と仰ぎ卒業後も特別に親交を深めておられました。かねてより義信氏の依頼により、先生九十三歳の時に揮毫し、この書とともに熊谷君と約束した。満足する書ではないがお許しただきたい」との手紙を添えています。義信氏は表装して自分の部屋に掲げ心を配りしてひとつの締めくくりとしております。

ひと口に、よく北高一南低と言われますが、私としては南低の底上げが随分できたと思っております。

下農については第二グラウンド建設、又、体育館兼講堂改築を九十周年記念に間

に合うよう要請し、完成することができました。

県下高校の中でも評価の高い下伊那農業高校、更なる前進を期待申し上げ、同窓会広報部から要請の一文とし、重ねて今日までの御推薦、御支援に厚く御礼申し上げます。(十月三日)

同窓生の活躍・活動報告



地方議員として五十二年、本年四月末日の任期を以って退任させてもらいました。特に昭和五十八年の県議選、下伊那郡区の初出馬以来七回の選挙、同窓会推薦をいただき、御支援で連続して議員として活動できたこと、今、感慨深く振り返り、五十二年間公務を皆勤で勤められたことを、健康は宝と感謝しています。

合併で豊丘村が発足して四年目の昭和三十四年、二

扁額の寄贈 「瑞気満堂」



のよりどころとされておられました。

現在、この扁額は校長室に芝原先生の肖像画とともに掲げています。「瑞気満堂」とは、良いことが学校(堂)に満ちあふれているという祝意の言葉です。この言葉が似合う学校でありたいと願っています。

第二十回兼創立90周年記念 親善ゴルフ大会

親善ゴルフ 記念大会を終えて

大会実行委員長

森山 和幸（高18回卒）



校の備品整備などの一助になればとチャリティーホールを設け、毎回二十万円ほどの資金を学校に贈らせて頂いております。

去る、三月十一日に発生した東日本大震災は、千年に一度の未曾有の大災害となり、飯田下伊那地域でも多くの被災者が避難生活を送られている状況下、学校創立九十周年事業、また第二十回記念大会として計画していた親善ゴルフ大会は、実施の是非も含めて協議してきました。その結果母校の旧校歌の一節に『時難にして義を思い』と歌われておりますように、国難ともいえるこの時こそ、下伊那農業高校の同窓生としての気概を示そうと、復興支援コンペとして位置づけ予定どおり実施することに致しました。

従来、大会では参加者の皆様の深いご理解により、後輩たちの校友会活動や学



義援金を教育長へ

会最多数の同窓生の参加で開催でき、参加者に御協力頂いたチャリティー金と参加費の一部から、最大の目的でありました被災者への義援金三十万円を教育委員会を通して飯田下伊那で暮らす福島県南相馬市の小中高生に、また、支援金二十万円を母校後輩に送ることができました。これからもこうした活動を続けていければと考えております。

なお、二十回記念大会の事業として、記念誌の発行、記念品として校章入りボールマークを作成、配布したほか、今大会までの間、大会開催

催に特に貢献をいただいた実行委員長の皆様方のご功績を称え感謝状と記念品を贈らせて頂いたことをご報告いたします。

また、こうして大会開催が定着してきたその陰には、参加者のもとより、各大会を支えて頂いた歴代各地区幹事、大会実行委員の皆様

の献身的なご努力があったからこそであり、それに加え、賞品提供で協賛頂いた多くの同窓会員の皆様、ゴルフ場関係者、事務局を担当していただいた歴代校内幹事の先生方のご支援、ご協力の賜と深く感謝と御礼を申し上げます。

おわりに、同窓生の交流の場としてのこの大会が三十回、四十回と続いて行きますよう会員皆様方の一層のご支援、御協力をお願い申し上げます。

下農同窓会親善ゴルフ大会成績

個人の部				
優勝	原林	武直	高15回	伊賀良
準優勝	熊谷	谷田	高20回	市田
3	位	東	高20回	市田
4	位	島	高9回	売木
5	位	原	高14回	売木
6	位	高	高26回	郷木
7	位	原	高12回	高木
8	位	高	高25回	上郷
9	位	置	高37回	上郷
10	位	村	高9回	売木
支会対抗の部				
優勝	勝	亀	丘支会	
準優勝	勝	伊	賀良	
3	位	川	路・東京・中川・売木	
4	位	市	田	
5	位	上	郷	

第20回大会

（創立90周年記念大会）

事務局長 安野正和（高21回卒）



大会当日は心配されていた天候も予想どおりとなり、雨の中のスタートとなりました。この大会が開催され今回二十回を迎えますが、梅雨時の開催にも係わらず雨の中でのプレーは五回程であり、先人の開催時期設定がうまくなされていることを痛感いたしました。

大会開催にあたり東日本大震災の発生により、祭事自粛ムードが全国的に漂う中開催が危ぶまれましたが、震災復興支援コンペ「第二十回同窓会親善ゴルフ記念大会」とし開催する運びとなりました。これに

支会活動

同窓会支会活動の現況について

—龍江支会報告—

支会長 熊谷政敏 (高5回卒)



を送り支会活動として連携を計って来ております。

去る五月二十一日下農同窓会代議員会に於いて諸られ岩崎同窓会長より表彰状を戴き誠に光栄に存じております。

当支会会員は、現存者二八五名がおり日頃は皆、地区内外で夫々に仕事を通じて職場や地域活動に頑張っております。立場は異なっても各々が同窓生の絆を継ぎ先輩各位によつて連携を深めて参りました。支会活動として隔年毎に会員総会を行い懇親と友情を暖めて来た中で、六〇七年毎に会員名簿(冊子)を作成し全会員に有償(支会費として)配布を行つて参りましたが会員相互の連携は今一つの感がありました。過去には本会主催のソフトボール大会には積極的に参加して参りました。又その後のゴルフ大会にも支会として代表

を送り支会活動として連携を計って来ております。一昨年の役員交代によつて若返りを含め新しい輪の広がりを考えて、会員の親睦がより一層深められるようにと、壮青年部と稲穂会を創設し更なる交流を計ることといたしました。

隔年毎に総会懇親会を行い壮青年部、稲穂会主催によるマレットゴルフ大会を毎年企画し多くの会員参加を呼びかけ交流の輪を広め語り合う中で、支会役員が協力して活動を盛り上げております。活動を強化すれば自ずと費用がかさむわけで会費の徴収が課題であります。加えて本会主催の行事等にも積極的に参加すべく、九十年記念事業及び第二十年記念ゴルフ大会にも支会を代表して参加しております。そして昨年は会員名簿の改廃作業と名簿冊子三五〇部を作成

し、全会員に稲井ヶ丘時報と共に配布致し会員に喜ばれている状況であります。同窓会の支部活動を考える時若い方々の連携と参加を呼びかけていくことが大変にむずかしい時代となっております。こうした活動を通して会員一人一人が意識を高めめ繼がりを深めて、稲丘会がより一層充実し発展すると共に地域における活動が活発に進んでいければと思っております。



役員会

同窓会一〇〇周年に向けて更なる積重ねと歴史を振り返る中で母校発展のために隠ながら御協力が出来れば幸いに存じております。以上整いませんが支部活動の一端と思いを述べ表彰への感謝の意といたします。

稲穂会の事が何一つ知られなかつた私が、会長さん始め、諸先輩の皆様のご指導のもと副として、三期目を迎える事となりました。会員の皆様のご協力にも大変感謝致します。又、事務局として矢澤先生、田中先生、大野先生には細かい心配りをして戴き、この稲穂会も無事成り立つております事、改めまして感謝です。

稲穂会を会員の皆様と共に

副部長 宮澤千文 (高21回卒)

稲穂会活動

したが、又、声を掛け合つてくださり当日は、今までにない三十四人という大勢の参加となりました。昨年と同様飯田の運動公園マレット場で行いました。初めて参加下さる方の顔も見られ、とても懐かしく、ハンドベル以来大勢の方が必ず参加して下さる様になり、大変嬉しい限りです。当日の天候も、体調も良かったのでしよう。ホールインワンが二人の方に出た事は大変感激です。学校からもありがたい賞品を用意してくださいませ。竹の子、苺ジャムのビン詰めはいつも楽しみます。そして今年は(なでしこジャパン)にちなんで、

したので、十八ホールを回つて来て頂くおにぎりは格別です。又、美味しい漬け物も同窓会副会長さんの坂巻さんから頂きました。ありがとうございました。それから成程の天候から、閉会式が始まり、全員の方がテントの中に入ったとたんと言つても良いでしよう。どしゃぶりの雨となり、稲穂会の運の強さには改めて脱帽でした。これも会員の皆様のパワーの力でしょう。稲穂会の事が知らない会員さんが大勢いらつしゃいます。どうかお一人の方がとにかくお一人の方を誘つて参加して下さり、この会を盛り上げていきましよう。楽しかった事を伝えて下さい。自分達がまずは楽しましよう。仲間はず集まってくると思ひます。又、お会い出来る日を楽しみにしております。皆様と共に稲穂会を人生の

平成23年度 稲穂会マレットゴルフ成績		
順位	参加者氏名	卒回
優勝	林 宣子	高14回
準優勝	岡村千恵子	高22回
3位	唐澤 知美	高18回
4位	岡島 裕子	第23回
5位	柴田千恵子	第21回
6位	熊谷 茂子	第21回
7位	勝野 芳美	第14回
8位	熊谷 正子	第18回
9位	菅沼 正子	第25回
10位	座光寺真理	第22回
ホールインワン賞	林 宣子	第14回
	林 文枝	第21回

なんなのでしようか、参加賞として可愛いナゲシコの鉢を頂きました。今も大切に育てています。昨年から朝九時にスタートして、昼食を食べ

たので、十八ホールを回つて来て頂くおにぎりは格別です。又、美味しい漬け物も同窓会副会長さんの坂巻さんから頂きました。ありがとうございました。それから成程の天候から、閉会式が始まり、全員の方がテントの中に入ったとたんと言つても良いでしよう。どしゃぶりの雨となり、稲穂会の運の強さには改めて脱帽でした。これも会員の皆様のパワーの力でしょう。稲穂会の事が知らない会員さんが大勢いらつしゃいます。どうかお一人の方がとにかくお一人の方を誘つて参加して下さり、この会を盛り上げていきましよう。楽しかった事を伝えて下さい。自分達がまずは楽しましよう。仲間はず集まってくると思ひます。又、お会い出来る日を楽しみにしております。皆様と共に稲穂会を人生の



稲穂会総会

卒業50周年 記念同窓会を終えて

実行委員長 杉山正臣（高12回卒）



第12回 卒業50周年記念 同窓会

十年一昔と言われますが、終戦から立ちあがり地方にもようやく息吹が感じられ、た昭和三十二年四月下農に入学し、三年間の稲井ヶ丘での青春時代が始まり、桑

園を掘り割り飯田の生ゴミを堆肥として施したこと、農場当番で便所の汲み取りを行ったこと、まだ上水道がなく部活動の後には交代でタテ井戸をあおり汗を流したこと等、今から思えば想像もできないことの農学校生活でした。あれから五十年、卒業の翌年伊那谷をおそった未曽有の三六災害は人生を大きく変えた人、高度経済成長時代へと移ってまいり中央道が開通し、国道一五三号線のバイパスができ、稲井ヶ丘がご承知のとおり変りました。しかし反面山村部は若者は都会へ流出し、後継者不足と遊休農地が増大し、過疎地域が多くなりま



先輩県議のお計らいもあって現状のまま今のところ存続することができましたが、今日の農業状況や県端にある母校にとっては訓練の時間がくるように思われます。そうしたなか私達は二月十三、十四日昼神温泉「阿智の里ひるがみ」で古希を間近にして卒業五十周年記念同窓会を行いました。卒業生二一一名（逝去された方十五名）内六十六名と元母校校長で現飯田市教育長伊澤宏爾先生、女子副担任の小瀬水千美先生のご臨席をいただきました。亡き恩師や級友の墓参りを済ませ



たクラスもあり亡き十五名に黙祷を捧げました。来賓の伊澤教育長からは農業は人材育成の基本であり、人が生きていく全ての面での役割が大きいこと。小瀬水先生は毎日鼎駅から学校まで歩いて通ったことが八十四歳になっても元気の秘訣であると思ひ出話に花を咲かせました。遠くは大阪、埼玉、東京から来られた五十年ぶりの学生時代の顔とはなかなか思い出せない方もいたが「クラス名と名札」は「やあ変ったなー元氣だったか」などと声を掛け合う姿があちこちで見られました。女子クラスからは「南京玉簾」全員による竜峡小唄など余興もあり長い「ひるがみの夜」を過ぎました。激動の半世紀を振り返り思い出の同窓会であり、翌朝こうした同窓会を続けるよう動議が提出され散会となりました。

平成23年2月13日 於 阿智の里・ひるがみ

会 務 報 告

幹事長 大 澤 勲 (高22回卒)



本年は三・一一東北大地震や大型台風被害など天災の多い年になってしまいました。

同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年引き続き幹事長をお引き受けすることになりました。もとよりその器ではございませんので会員の皆様方、校内幹事のご指導ご鞭撻を頂き、精一杯勤めさせて頂く所存でございますので一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年実施いたしました、「創立九十周年記念事業」には各支会長さんはじめとして皆様方の絶大なご尽力を賜り盛大かつ成功裏に終わることができました。心より御礼申し上げる次第でございます。

新役員体勢になり三年目を迎え、五月に開催致しま



平成23年 5月21日 代議員会

親善ゴルフ大会が六月二十一日(火)に盛大に行われました。記念誌の発行、記念品として参加者全員に校章の入ったボールマーカー、功労者の皆様への感謝状贈呈が行われました。又参加者の皆様から母校に多額のご寄付をいただきました。校友会など生徒の活動に使わせて頂きます。次は稲穂会(女子部会)の活動が益々活発になったことであります。本校卒業の女性会員も四千五百名と、全卒業生数一万七千名の四分の一と増え、在校生は過半数を占め、六月十八日(土)にはマレットゴルフ大会が盛大に実施されました。稲穂会の活動が更に活発になり同窓会に

新たな明るい旋風を巻き起こして頂けることと期待しております。二月十二日(日)には総会も予定致しておりますので、多数のご参加を頂き盛会になりますことを念じておる次第であります。龍江支会に於ては女性の参加を積極的に推進され

るとして支会表彰を受けられました。各支会においても組織作りを強化して輪を広げて頂きたくお願い致します。次に、支会活動であります。例年総会を開いて頂いておりますが、昨年度は東京・上郷・市役所・合庁・伊賀良・松尾・神稲・座光寺・川路の各支会で開催され、会長始め事務局から校内幹事が出向いております。その中で年一回発行される時報が届かないと言った声を耳に致しますが、是非各支会で組織の充実をして頂き、全会員の皆様に時報が届きますことを願うものであります。更なる支会の発展を願っております。次に財団法人稲丘会についてであります。先

の法改正に伴い稲丘会の法人としての今後の進むべき方向の検討を稲丘会理事の代表五名の方々にお願いして肅々と進めております。最後にになりましたが、少子化に伴う高校改革プランは平成二十五年度に飯田長姫と飯田工業が統合されますがその後の生徒減は本校にも大きな影響があり深刻な問題を投げかけています。同窓生の皆様におかれましては、母校の発展のためにより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。以上、会務報告とさせていただきます。

「転入」 (学校長) 遠山 善治 (教頭) 嶋崎 文男

致します。五月二十一日(土)に代議員会を稲丘会館で開催し多数の代議員の方々に出席を頂き、盛会の内に議事の承認を頂きました。次に同窓会の大きな事業の一つであります、第二十回記念

親善ゴルフ大会が六月二十一日(火)に盛大に行われました。記念誌の発行、記念品として参加者全員に校章の入ったボールマーカー、功労者の皆様への感謝状贈呈が行われました。又参加者の皆様から母校に多額のご寄付をいただきました。校友会など生徒の活動に使わせて頂きます。次は稲穂会(女子部会)の活動が益々活発になったことであります。本校卒業の女性会員も四千五百名と、全卒業生数一万七千名の四分の一と増え、在校生は過半数を占め、六月十八日(土)にはマレットゴルフ大会が盛大に実施されました。稲穂会の活動が更に活発になり同窓会に

るとして支会表彰を受けられました。各支会においても組織作りを強化して輪を広げて頂きたくお願い致します。次に、支会活動であります。例年総会を開いて頂いておりますが、昨年度は東京・上郷・市役所・合庁・伊賀良・松尾・神稲・座光寺・川路の各支会で開催され、会長始め事務局から校内幹事が出向いております。その中で年一回発行される時報が届かないと言った声を耳に致しますが、是非各支会で組織の充実をして頂き、全会員の皆様に時報が届きますことを願うものであります。更なる支会の発展を願っております。次に財団法人稲丘会についてであります。先

の法改正に伴い稲丘会の法人としての今後の進むべき方向の検討を稲丘会理事の代表五名の方々にお願いして肅々と進めております。最後にになりましたが、少子化に伴う高校改革プランは平成二十五年度に飯田長姫と飯田工業が統合されますがその後の生徒減は本校にも大きな影響があり深刻な問題を投げかけています。同窓生の皆様におかれましては、母校の発展のためにより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。以上、会務報告とさせていただきます。

「転入」 (学校長) 遠山 善治 (教頭) 嶋崎 文男

平成二十二年期末

会員の異動

- 一、同窓会員(名)
 - 二十三年三月 卒業により正会員になったもの 一九四
 - 四月 入学により準会員になったもの 一五五
 - 正会員数 一七、六二七
 - 旧制 二、四八九
 - 高校 一五、一三八
 - 内 男子 一〇、四七七
 - 女子 四、六六一
 - (二十二年年度 八十二)
- 二、職員異動
 - 「転出」
 - (学校長) 斎藤 秀雄
 - (数学) 小池 聡
 - (理科) 大平 泰嗣
 - (理科) 木下 弘美
 - (農業) 藤本 秀樹
 - (農業) 芦部 和馬
 - (社会) 御園生詔二
 - (英語) 野村 房子
 - (家庭) 田中永里名
 - (農業) 島 知勢子
 - (ALT) マイケル・フー
 - (行政) 林 毅
 - (行政) 北村 一秀
 - (行政) 竹内 次郎
 - (司書) 三谷真紀子
 - (行政) 山田 保子
 - 「転入」
 - (学校長) 遠山 善治
 - (教頭) 嶋崎 文男

- (数学) 井澤 弘幸
- (数学) 今村 智司
- (理科) 中川 慶彦
- (理科) 南嶋美千子
- (農業) 北原 智
- (行政) 秦 嘉雄
- (行政) 松下 賢司
- (司書) 遠山 恵美
- (行政) 向山 賢治
- (行政) 木下 陽子
- (ALT) デレス・ガー
- フィルド・マッカー

会員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます (敬称略)

- 下田 幹雄 (旧二十五回) 龍江
- 奥村 健 (旧二十六回) 鼎
- 村澤 稔三 (旧二十八回) 鼎
- 田畑 作衛 (三回) 川路
- 竹村 寛治 (七回) 鼎
- 今村 太郎 (十二回) 座光寺
- 市村 宏入 (三十回) 山本

平成22年度 決 算 書

平成23年5月21日 提 案
平成23年5月21日 承 認

- 1 歳入総額 2,582,586円
- 2 歳出総額 1,530,013円
- 3 差引残額 1,052,573円

1 歳入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
入 会 金	1,280,000	0	1,280,000	1,280,000	0	8000×160名
雑 収 入 (利 子)	719	0	719	1,305	586	定期繰入、利息、CD売り上げ
繰 越 金	913,281	0	913,281	913,281	0	
終 身 会 費	388,000	0	388,000	388,000	0	2000×194名
合 計	2,582,000	0	2,582,000	2,582,586	586	

2 歳出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			支出済額	予算残額	備 考
	当初予算額	流用	計			
1 事務費	465,000	0	465,000	179,017	285,983	
1) 旅 費	135,000		135,000	70,585	64,415	支会総会等の旅費
2) 事 務 費	60,000		60,000	9,808	50,192	手数料・プリンターインク他
3) 通 信 費	20,000		20,000	8,940	11,060	郵送料・電話代
4) 消 耗 品 費	70,000		70,000	32,164	37,836	印刷用紙他
5) 負 担 金	30,000		30,000	6,000	24,000	地区同窓会負担金
6) 正 副 会 長 交 際 費	150,000		150,000	51,520	98,480	各種会議参加費等
2 会議費	260,000	0	260,000	221,973	38,027	
1) 役 員 会 費	30,000		30,000	30,000	0	監査会等
2) 代 議 員 会 費	170,000		170,000	134,340	35,660	代議員会
3) 幹 事 会 費	60,000		60,000	57,633	2,367	校内幹事会会議費
3 事業費	1,450,000	0	1,450,000	1,058,729	391,271	
1) 稲 穂 会 費	120,000		120,000	62,229	57,771	活動費・総会費
2) 事 業 推 進 費	370,000	-86,000	284,000	222,990	61,010	支会総会の参加
3) 稲 丘 時 報 発 行 費	250,000	86,000	336,000	336,000	0	稲丘時報発行費
4) 同 窓 会 林 管 理 費	10,000		10,000	0	10,000	同窓会林間伐等管理
5) 新 正 会 員 歓 迎 費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲 丘 会 事 業 寄 付 金	200,000		200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
7) 親 善 大 会 費	100,000		100,000	87,510	12,490	親善ゴルフ
8) 研 究 費	250,000		250,000	0	250,000	創立90周年事業準備会
4 雑支出	226,000	0	226,000	70,294	155,706	
1) 慶 弔 費	120,000		120,000	23,294	96,706	祝儀・香典・弔電
2) 転 退 職 員 記 念 品 費	60,000		60,000	47,000	13,000	餞別
3) 雑 費	46,000		46,000	0	46,000	
5 予備費	181,000	0	181,000	0	181,000	
1) 予 備 費	181,000		181,000	0	181,000	
合 計	2,582,000	0	2,582,000	1,530,013	1,051,987	

下農は今 (在校生の活躍)

第3回U18合同チーム東西対抗戦に東軍(東日本代表)として出場 もう一つの花園

平成二十三年三月 農業機械科卒業

松倉 慎 治 (高63回卒)

私達は、一月八日に行われた東西対抗戦に東日本代表の選手として花園ラグビー場でプレーをしてきました。

一月五日に選手はみんな集まり、顔合わせをしてから神戸精鋼の寮へ移動をしました。バスで移動をしたのですがバスは一台で、数日後に戦う西日本代表の選手と一緒にした事に私はとても驚きました。ですが、この大会では寮の部屋も、練習もほとんど一緒にして私はとても変な感じがしていました。夜に東西別れて各チーム自己紹介をしました。部屋が違うので西軍の事はわからないのですが、自己紹介や、部屋での雰囲気などは東軍の方が良く、初日から仲良くやっていたのでチームが割と早くで上がったと思います。

二日目は、朝九時から、神戸製鋼のグラウンドで練習をし



した。東軍、西軍同じグラウンドを半面ずつに使い練習をしたので、どの選手がいい動きをするのかなどが見れて、良かったのですがそれは相手も同じですが、私は練習中に相手を研究できるのはすごい環境でやっていると練習をしていました。普段の学校でやっていた人数よりも多い人数で練習をするのがとても久しぶりでFWは対人で、しかも八人で組めたので、とてもうれしかったです。午前中の練習は二時間しかなかったのですが、とても内容が良く、中身の濃かった練習ができました。

午後は午前中の練習より激しく、バチバチのコンタクトをやりました。一人に一人が真剣でも緊張した雰囲気の中やっています。その中で一人ケガをしてしまい八日の試合には出れなくなってしまうました。一日目に仲良くなった奴だったので一緒にプレーできなかったのはとても残念でした。二日目は

午前、午後合わせて四時間の練習で終わりました。

三日目は、前日と同じで九時から十一時までで練習内容はほとんど合戦でした。私と池戸と宇井はスタートメンバーには選ばれず、合戦には交替で入るようにしていました。合戦が終わると次にグラウンドを使う決勝に上がった東福岡が来て練習をしていきました。見ていたが一人一人が上手で同じ高校生には見えない感じがしました。とても圧倒された感じがしました。午後はフリーで、みんな明日のためにくつろいでいました。

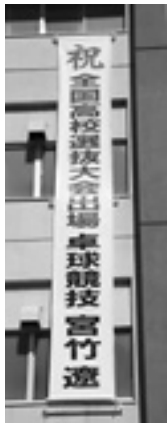
四日目、ついに東西対抗戦です。高校ラグビーの決勝の前座

下農での卓球生活

平成二十一年入学 園芸クリエイト科 三年 宮竹 遼

私は小学三年生の頃から卓球をやっていました。中学生の頃の私は下伊那農業高校の卓球班がとてもあこがれてました。そんな私が下伊那農業高校の卓球班で練習できたことは、とてもほこりに思います。

私は下農の卓球班に入ったばかりの高校一年生の初めのインターハイ長野県予選の団体戦に出させていただきました。しかし、私は勝つことができませんでした。下農は勝つことができたが自分のせいでは



でしたが、花園でプレーをすると言う事に私はとても緊張してました。後半出場したのですが、最初の十分位はガチガチで体が中々動きませんでした。ですが同じ下農の選手がいいプレーをしているのを見たら段々プレーに集中する事ができてきました。試合は一トライ差で負けてしまったのですが、最後の大洋のトライのフォロローに行きサポートできたので私の中では満足でした。高校ラグビーをやってきて、花園でプレーができ下農の五人と一緒に出れたのが一番うれしかったです。保護者の方や後輩の応援のおかげでプレーすることができました。ありがとうございます。

方にめいわくをかけてしまってもくやしかったです。もうめいわくをかけたくなかったし、試合に出るんなら絶対に勝ちたかったので毎日練習をがんばりました。そして一年生の新人戦では南信大会で二位に入ることができ、北信越選抜卓球大会に出場することができました。北信越大会ではベスト八に入ること



とができ、とてもいい経験になりました。そして三年生がいたいをして私たちが班活をひっぱっていく番になり私も副班長というとても責任の重い役をやらせてもらえることになりました。も重役ですが、班活をより上げるようにがんばりました。班活が新メンバーになり、すぐに新人戦があります。団体北信越大会出場という目標をかけた毎日練習をがんばりました。そして県大会に進み団体戦はベスト八で負けてしまいました。個人戦では全国大会に出させてもらえるようになりました。全国大会に出場できると決まっていたらはいままでよりもたくさん練習をしました。平日は七時までで練習をし、それから町のクラブで九時三十分まで練習し、休日は九時から三時までで練習をして六時三十分から九時三十分まで町のクラブで練習をしたりと、毎日ががんばりました。

自分の実力は全国大会ではどのくらい通用するのかとても楽しみでした。しかし、全国大会は東日本大震災のいききょうで中止になってしまいました。しかし、全国大会を目標に努力して得た技術をいろんな大会でいか

商品化すること

平成二十一年入学 アグリサービス科

三年 勝 又 麻 希

私が学んでいるアグリサービス科では稲丘祭の時にかたつむりの会が主催で地元の食材を使って料理を作る料理コンテストを行っています。今回で六回目になり、テーマが「南信州の豚肉を使った新しい特産品」でした。当日までに数回練習し自分たちが納得するようなものに改善していきました。当日は制限時間内に作って片付けもしなければならなかったので忙しく大変でした。私たちが考えた料理に「人気賞」という札が貼ってありました。一生懸命考えたものが賞をいただけてとても嬉しかったです。



稲丘祭も終わり、私たちが作ったものが長野県全域のサークルKサンクスで販売されるという話を聞きました。光栄なこと嬉しく思いましたが、それと同時に不安な気持ちにもなりました。今年三月にサークルKの担当者

すことができました。今はもう引退してしまいました。下農の卓球部で練習できたことをほこりに思います。下農で卓球を練習したことをこれからの卓球生活にいかしていきたいと思

ボクシング インターハイ in 秋田県

平成二十二年入学 農業機械科

二年 後 藤 琢 磨

八月八日から僕は、秋田県で行われたインターハイに行かせてもらいました。九日からが大

八月は、九日の検診計量の事を考え過ぎました。

九日は、朝体重計に乗るまで

ドキドキしていました。会場に

行くと、もうリングが作られて

いました。めっちゃ感動しまし

た。検診計量は無事に終わって

対戦相手も決まりました。僕は

十日の試合で、相手は山口県の

一年生でした。この時、一年生

だから：そんな気持ちで試合の

結果に現れたんだと思います。

十日は、体調もベストで検診

計量も通りました。こんなに大

きな体育館でやるのは初めてだ

だったので、とても緊張しまし

た。僕の試合は十四試合目で、ボク

シング連盟の人にアップなど手

伝ってもらい準備しました。

の後も何回か打ち合わせをし、

納得のいく味になりました。打

ち合わせをしていき、商品名・

ラベルのデザイン・値段・販売

期間などを決めました。

六月二日〜二十九日までサー

クルKで販売されました。一つ

細かく説明をしていただき、そ



ラッキーパンチが当たるかもしれないだとか、目の前にいる敵、今の自分の立ち位置を理解していなかったです。僕は負けました。秋田に来た時、インターハイに出るだけで嬉しかったです。でもやっぱり、悔しいです。

ポイントにも持ち込めなかったんで、実力差はけっこうありました。でも、勝ちたかったです。

十一日は、工業の先輩の試合がありました。先輩はめっちゃ強いんで、勝つと思っていました。試合も前半、

リングに上がると不思議と気持ち

が楽になりました。ゴング

が鳴ると同時に僕は相手

手に飛びとびかかりました。

結果は二ラウンド二分六秒R

SC負けでした。実力の問題も

ありましたが、一番の負けの原

因は自分の試合に対する気持ち

だったと思います。初の遠出の

試合でしたし、周りの空気に飲

まれたのもあると思います。相

手が自分より年下だからとか、

の物をつくるには、大勢の人々

の知恵や技術が力を合わせて初

めて完成するのだということが

よくわかりました。

(本文は、「農業と生活」二〇

一一、八月号に掲載されたもの

というか3R前半まではポイント勝っていました。でも最後二十秒でダウンを二回取られて、結果三対四で負けてしまいました。やっぱり全国の壁は大きいなと思いました。

先輩はこれで引退です。僕はまだ次があるという希望があります。次をもっと充実した物にしたいです。

この日の夕飯は、大澤先生が親子丼をおごってくれました。ろくな物食べてなかったんで、とてもとっても美味しかったです。苦しいことばかりだけど、ボクシングは最高です。来年のインターハイは、自分の力を残したいです。最後に、応援してくださったみなさんありがとうございました。

平成22年度卒業生(平成23年3月卒業)の進路状況

卒業生数				合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学
男子	81人	人数	比率	計	79	35	40	40
女子	113人			男女	20	35	19	7
合計	194人			男女	59	0	21	33
就職者 男子 33 女子 24 小計 57 比率 29.4%	管内	48	24.7%	男女	24	3	2	4
	管内	1	0.5%	男女	1	0	0	0
	県外	7	3.6%	男女	7	0	1	1
	公務員	0	0.0%	男女	0	0	0	0
	自営	1	0.5%	男女	1	1	0	0
進学者 男子 48 女子 88 小計 136 比率 70.1%	四大	22	11.3%	男女	8	1	5	2
	短大	31	15.6%	男女	14	8	1	5
	県農大等	13	7.1%	男女	2	1	1	9
	専修学校等	70	36.1%	男女	29	18	2	9
					男女	12	4	1
専修学校等	70	36.1%	男女	26	10	8	6	2
未定	1	1	0.5%	男女	44	20	9	15
比率	0.5%			男女	1	1		

進路状況

平成22年度(平成23年3月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 齋藤 淳子

新規卒業者の就職を巡っては、東日本大震災の影響などもあり、予想通りの厳しい状況です。本校に届けられる管内の求人の数

が現段階で昨年に比べて十件ほど少なく、また企業によつては受験倍率が高く、万全な準備をして臨んでもいい結果が得られ

ない場合があります。しかし、一次で失敗を経験した生徒もまた気持ち新たに再挑戦しているところ。十月末現在で、来春の卒業予定の内の就職希望者四十四名中、八割強の生徒が内定をもらいました。また、公務員の一次に合格している生徒もいます。残っている生徒については、

県高校就職活動支援員制度やハローワークとの連携を利用しながらじっくり取り組んでいきたいと思ひます。以下今春の卒業生の進路概況について触れます。

まず就職についてですが、今春卒業した三学年は例年よりクラス数が一クラス多かつたこともあり、就職希望者も五十七名と多く心配されました。しかし予想に反して順調に進み、一回目の採用試験で不採用となつた生徒が九名(不採用率十五%)と前年度よりよい結果となりました。その後、中には三度、四度とチャレンジする生徒も

いました。最終的に全員の生徒が内定をいただくことができた。約九割が地元企業であり、県外へ出た者は七名でした。進学については、前年より希望者が減少して、七割程度でした。進学先・分野は多方面に渡り、国立大学三名を含む四年制大学が二十二名、地元の飯田女子短を

含む短大が三十一名、県農業大学校等が十三名、その他の専門学校が七十名となりました。ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試)を利用して入学しましたが、一般入試を経て入学した生徒も若干名いました。

進学 4年制大学	農業大学校等	信菱電機2、スーパースポーツゼビオ
信州(農)2、新潟(農)、東京農業(農)、名城(農)、麻布(獣医)、東京家政(人文)、愛知工業(工)、大同(工)、中部学院2(経営・人間福祉)、愛知学泉2(家政)、中部(応用生物)、東海学院(健康福祉)、東海学園(人間健康)、東京聖米(健康栄養)、松本(人間健康)、名古屋学院(スポーツ健康)、日本福祉(子ども発達)、名古屋経済2(経営・人間生活科学)	長野県農業大学校8(総合農7・南信実科)、長野県林業大学校、愛知県立農業大学校3(農)	飯田店、Zenshin美容室ism、そばの里、タニガワ、津具屋製菓信州苑2、戸田屋、殿岡温泉湯元湯一眠、夏日光学、バッピーハウス、はと錦2、一粒の麦、ひるがみ温泉石苔亭いしだ、マイハウス社湯多利の里伊那華、ミサヤママイクロテック、みなみ信州農業協同組合、三菱電機中津川製作所飯田工場、山岸エーアイシー、米山金型製作所、自営(農業)
短期大学	専修学校	県内
飯田女子17(幼児教育3・家政9・看護5)、松本2(介護福祉・幼児教育)、愛知学泉(幼児教育2・生活デザイン)3、愛知文教女子(生活文化)、岡崎女子(幼児教育)、名古屋学芸(現代総合)、名古屋経営(総合ビジネス)、名古屋文理2(食物栄養)、日本(生物資源)、新渡戸文化(生活)	看護・医療・トレーナー20、調理・製菓6、自動車整備6、理美容6、介護4、公務員4、保育3、電気・電子・情報3、デザイン3、フラワー2、動物2、フライダール・ファッション3、音楽2、その他5	豊信合成
	就職 管内	県外
	アイバックス、赤羽製作所、アジア電子工業、飯田城、飯田精機、飯田精密、エイティーツーシー屋神の森、NSKマイクロプレジジョン、大木屋、お菓子のシアワセドール3、オムロン飯田4、グラビアジャパン、クログラ精機、KOA匠の里、コバックス2、伍福園、サン・コーポレーション、三州ワイヤーハーネス飯田センター、シチズン平和時計、信南交通、	新日本製鐵名古屋製鐵所、東海旅客鉄道2、トヨタテクニカルディベロPMENT、日進乳業、日野自動車、美容室エレガンス豊川店

編集後記

本年も、無事「第七十六号稲丘時報」を発行することができました。

これも偏に同窓会長の岩崎様を始め、寄稿や写真のご提供に快くご協力いただきました。同窓会員、準会員の皆様のお陰と感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。有り難うございました。

本号は、下伊那農業高等学校創立九十周年記念事業を終えた翌年の号であり、次の一〇〇周年に向けての第一号でもあります。この「稲丘時報」が、今後の同窓会活動がますます活発に行われていくための一助となればと思ひます。

(稲丘時報係)

